

（全体を通して）

今回の教育大綱の策定については、前回までの基本方針をベースにして、副題として学習者を主体として目指す姿を表す「～主体的に学びあい、自分らしく輝く未来をつくる～」とした。基本目標については、5つの柱から4つの柱に集約し、これまでの市民憲章に沿った表現から社会の変化や国や県の動きを反映させた内容に変更した。

また、これまで4年ごとに教育大綱の内容を見直すこととしていたが、彦根市としての教育政策に関する方向性は数年ごとに頻繁に変わるものではないという理由から、期間を設けないこととした。社会情勢の変化や、国・県の動きによって必要に応じて見直しを行う運用とした。

そのことにより、基本目標にぶら下がっていた各施策については、毎年作成している「彦根市教育行政方針」に含めることとして、教育大綱では基本目標の説明のみ記載することとした。

各項目での変更点については、以下のとおり。

（1）表紙

暫定的にこれまでと同じ彦根城の写真を使用し、「心を磨く教育」を抜粋して記載。

次期教育大綱の表紙の検討

（2）彦根市教育行政の体系

教育大綱と総合計画、教育行政方針との位置関係がわかるように記載

（3）基本方針、基本目標

資料1参照

（4）用語集

生きる力、小中一貫教育、いじめ、SDGs、社会に開かれた学校づくりについての記載を削除

学校段階間・学校種間、認知能力、非認知能力、ＩＣＴ、ＤＸに関する記載を追加